

平成 23 年 12 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 23 年 11 月 7 日

上場会社名 日本パワーファスニング株式会社 上場取引所 大  
 コード番号 5950 URL http://www.jpfn-net.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土肥 智雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 小西 良幸 (TEL) 06(6442)0951  
 四半期報告書提出予定日 平成 23 年 11 月 11 日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 23 年 12 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 23 年 1 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23 年 12 月期第 3 四半期	6,052	△11.1	302	274.0	246	—	105	—
22 年 12 月期第 3 四半期	6,805	13.8	80	—	△12	—	△144	—

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23 年 12 月期第 3 四半期	5.97	—
22 年 12 月期第 3 四半期	△8.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23 年 12 月期第 3 四半期	11,263	4,513	35.8	229.28
22 年 12 月期	10,514	4,435	37.2	219.95

(参考)自己資本 23 年 12 月期第 3 四半期 4,029 百万円 22 年 12 月期 3,914 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22 年 12 月期	—	0.00	—	2.00	2.00
23 年 12 月期	—	0.00	—		
23 年 12 月期(予想)				5.00	5.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 : 有

3. 平成 23 年 12 月期の連結業績予想 (平成 23 年 1 月 1 日～平成 23 年 12 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	8,200 △14.3	380 49.6	330 139.1	220 528.6	12.52

(注)当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他（詳細は、【添付資料】2ページ「その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

- ② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

23年12月期3Q	18,688,540株	22年12月期	18,688,540株
23年12月期3Q	1,112,654株	22年12月期	889,301株
23年12月期3Q	17,643,180株	22年12月期3Q	17,811,504株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	2
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	2
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	2
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(第3四半期連結累計期間) .....	6
(第3四半期連結会計期間) .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間(3ヶ月間)における日本経済は、東日本大震災による大打撃からの復興は進んできているものの、原発事故による放射線問題や電力不足等も長期化し、加えて欧州の財政危機等を背景とした世界経済の減速を受け先行き不透明感が強まってまいりました。しかしながら、当社グループに関連の深い建築市場におきましては住宅版エコポイント制度等の住宅政策の効果や供給網復旧による建築資材の供給増加に伴い回復基調となりました。

このような経済環境のもと、当社グループは総合ファスニングメーカーとして、作業性、耐久性、耐震性、そして環境保全に適合する付加価値の高い製品の開発・販売に取り組み、また、震災復興のための仮設住宅用部品の供給にも対応いたしました。導入2年目となった太陽光発電パネルの組立につきましても順調に推移いたしました。

以上のような事業活動の結果、当第3四半期連結会計期間(3ヶ月間)の経営成績につきましては、前連結会計年度末に連結子会社(近江ニスコ工業㈱)が連結対象外となった影響もあり、売上高は2,216百万円(前年同期比5.1%減)と減収になりましたが、経常利益は133百万円(前年同期比1,719.0%増)となり、四半期純利益は102百万円(前年同期は25百万円の四半期純損失)となりました。

なお、平成23年12月期第1四半期及び第2四半期に係る連結経営成績に関する定性的情報については、平成23年12月期第1四半期決算短信(平成23年5月11日開示)及び第2四半期決算短信(平成23年8月10日開示)をそれぞれご参照ください。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は以下のとおりです。

前連結会計年度末と比較し、総資産は748百万円増加の11,263百万円となりました。これは電子記録債権、有形固定資産及び投資有価証券の増加が主な要因であります。

負債につきましては、支払手形及び買掛金並びに長期借入金の増加等により、負債合計は前連結会計年度末比670百万円増加の6,749百万円となりました。

純資産につきましては、四半期純利益の計上やその他有価証券評価差額金の変動等により、純資産合計は前連結会計年度末比78百万円増加の4,513百万円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績は計画を上回る数値で推移しており、通期業績につきましては、売上高8,200百万円、経常利益330百万円、当期純利益220百万円を予定しております。なお、期末配当金につきましては、1株当たり5円とし、前期比3円の増配を予定しております。

詳細は本日(平成23年11月7日)開示しました「業績予想並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ① たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

#### ② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

#### ③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定しております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度以降に経営環境等、並びに一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化があるか、又は一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益はそれぞれ620千円減少し、税金等調整前四半期純利益は8,299千円減少しております。

② 「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分）及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第24号 平成20年3月10日）を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	610,252	1,050,287
受取手形及び売掛金	2,002,723	1,915,153
電子記録債権	1,006,256	554,495
商品及び製品	1,194,661	1,095,199
仕掛品	299,608	275,409
原材料及び貯蔵品	583,109	552,107
繰延税金資産	77,003	70,446
その他	141,184	156,654
貸倒引当金	△7,831	△7,830
流動資産合計	5,906,967	5,661,922
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,127,813	1,185,305
機械装置及び運搬具(純額)	1,039,552	985,498
土地	1,325,443	1,326,699
その他(純額)	448,520	285,218
有形固定資産合計	3,941,329	3,782,720
無形固定資産	104,168	106,199
投資その他の資産		
投資有価証券	903,119	543,237
その他	432,459	445,106
貸倒引当金	△24,982	△25,010
投資その他の資産合計	1,310,595	963,332
固定資産合計	5,356,093	4,852,252
資産合計	11,263,060	10,514,175

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,472,331	1,236,364
短期借入金	1,702,919	1,671,373
1年内返済予定の長期借入金	907,102	767,538
未払法人税等	20,607	29,209
賞与引当金	65,821	—
その他	410,944	427,033
流動負債合計	4,579,727	4,131,519
固定負債		
長期借入金	1,614,264	1,559,131
退職給付引当金	21,057	21,057
その他	534,346	366,902
固定負債合計	2,169,668	1,947,091
負債合計	6,749,395	6,078,610
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,550,000	2,550,000
資本剰余金	1,638,786	1,638,786
利益剰余金	133,776	64,123
自己株式	△177,560	△152,127
株主資本合計	4,145,002	4,100,782
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	14,448	△79,033
繰延ヘッジ損益	13	—
土地再評価差額金	△2,078	△2,078
為替換算調整勘定	△127,599	△104,691
評価・換算差額等合計	△115,216	△185,802
少数株主持分	483,879	520,585
純資産合計	4,513,665	4,435,565
負債純資産合計	11,263,060	10,514,175

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
売上高	6,805,007	6,052,135
売上原価	5,210,168	4,437,221
売上総利益	1,594,838	1,614,914
販売費及び一般管理費	1,513,999	1,312,552
営業利益	80,839	302,361
営業外収益		
受取利息	1,174	6,880
受取配当金	8,142	11,133
助成金収入	4,551	—
その他	8,195	7,823
営業外収益合計	22,064	25,837
営業外費用		
支払利息	60,807	41,809
為替差損	28,705	8,739
その他	25,564	30,664
営業外費用合計	115,077	81,213
経常利益又は経常損失(△)	△12,174	246,985
特別利益		
持分変動利益	10,967	—
投資有価証券売却益	6,319	—
貸倒引当金戻入額	4,511	—
特別利益合計	21,797	—
特別損失		
投資有価証券評価損	85,767	89,556
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	7,679
減損損失	1,322	1,256
訴訟関連費用	4,518	—
その他	410	—
特別損失合計	92,018	98,491
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△82,394	148,493
法人税等	45,114	21,782
少数株主損益調整前四半期純利益	—	126,711
少数株主利益	16,844	21,459
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△144,353	105,251



(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	2,336,669	2,216,703
売上原価	1,786,245	1,615,795
売上総利益	550,423	600,907
販売費及び一般管理費	506,982	446,162
営業利益	43,441	154,745
営業外収益		
受取利息	341	1,846
受取配当金	689	530
環境対策費精算差額	—	2,223
助成金収入	3,657	—
その他	801	1,108
営業外収益合計	5,489	5,708
営業外費用		
支払利息	18,611	14,581
為替差損	10,609	6,044
その他	12,395	6,768
営業外費用合計	41,615	27,394
経常利益	7,315	133,059
特別利益		
貸倒引当金戻入額	4,511	—
特別利益合計	4,511	—
特別損失		
投資有価証券評価損	8,418	9,054
その他	148	—
特別損失合計	8,566	9,054
税金等調整前四半期純利益	3,260	124,005
法人税等	18,164	7,182
少数株主損益調整前四半期純利益	—	116,823
少数株主利益	10,487	14,248
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△25,390	102,575

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△82,394	148,493
減価償却費	306,973	287,432
のれん償却額	699	1,528
減損損失	1,322	1,256
貸倒引当金の増減額(△は減少)	599	△26
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	66,298
退職給付引当金の増減額(△は減少)	6,192	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,070	—
受取利息及び受取配当金	△9,317	△18,013
支払利息	60,807	41,809
持分変動損益(△は益)	△10,967	—
為替差損益(△は益)	29,728	△15,253
持分法による投資損益(△は益)	4,645	10,042
投資有価証券売却損益(△は益)	△6,319	—
投資有価証券評価損益(△は益)	85,767	89,556
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	7,679
会員権評価損	148	—
固定資産売却損益(△は益)	—	△20
固定資産除却損	2,124	1,540
売上債権の増減額(△は増加)	△223,649	△545,416
たな卸資産の増減額(△は増加)	△194,326	△166,466
未収入金の増減額(△は増加)	△107,383	△1,293
仕入債務の増減額(△は減少)	96,212	239,769
未払消費税等の増減額(△は減少)	△15,587	23,545
その他	△31,270	16,056
小計	△79,924	188,517
利息及び配当金の受取額	9,327	13,448
利息の支払額	△60,974	△41,794
法人税等の支払額	△61,699	△32,364
営業活動によるキャッシュ・フロー	△193,271	127,805
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△167,331	△268,336
有形固定資産の売却による収入	1,329	148
投資有価証券の取得による支出	△72,442	△371,260
投資有価証券の売却による収入	10,769	—
関係会社株式の取得による支出	△79,735	—
子会社株式の取得による支出	—	△46,888
会員権の取得による支出	—	△8,051
会員権の売却による収入	3,000	—
その他	△3,231	△293
投資活動によるキャッシュ・フロー	△307,642	△694,681

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△153,578	46,800
長期借入れによる収入	850,000	847,200
長期借入金の返済による支出	△711,460	△652,503
割賦債務の返済による支出	—	△15,449
リース債務の返済による支出	△33,885	△49,859
少数株主からの払込みによる収入	250,000	—
自己株式の取得による支出	△2,366	△25,433
配当金の支払額	—	△35,598
少数株主への配当金の支払額	△4,400	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	194,310	115,155
現金及び現金同等物に係る換算差額	△38,125	11,685
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△344,729	△440,035
現金及び現金同等物の期首残高	1,460,966	1,050,287
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,116,237	610,252

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年9月30日)

	建築用ファスナー及びツール関連事業 (千円)	自動車・家電等部品関連事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	4,729,441	2,066,706	6,796,147	8,860	6,805,007
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	31,587	123,427	155,015	(155,015)	—
計	4,761,028	2,190,134	6,951,162	(146,155)	6,805,007
営業利益又は営業損失(△)	△2,414	130,764	128,350	(47,511)	80,839

(注) 1. 顧客マーケット及び損益集計区分に照らし、事業区分を行っています。

## 2. 各事業区分の主な製品

- (1) 建築用ファスナー及びツール関連事業…ドリルねじ、石膏ボード用特殊ねじ、ドライウォール用特殊ねじ、ALC用特殊ねじ、木造用耐震ねじ、コンクリート用特殊ねじ、コンクリート用アンカー、あと施工アンカー、特殊ピン、特殊ネイル、座金組込ナット、住宅用締結金具、ねじ連続打込機、ガス式びょう打機、太陽光発電パネル組立
- (2) 自動車・家電等部品関連事業……………座金組込ねじ、座金組込ナット、波形ばね座金、歯付き座金、一般産業用締結金具

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年9月30日)

	日本 (千円)	中国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	6,531,118	265,029	6,796,147	8,860	6,805,007
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	979,281	979,281	(979,281)	—
計	6,531,118	1,244,311	7,775,429	(970,421)	6,805,007
営業利益	62,647	79,639	142,286	(61,447)	80,839

(注) 国又は地域の区分は、当社及び連結子会社の所在国によっております。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年9月30日)

海外売上高の合計が連結売上高の10%未満であるため、その記載を省略しております。

## 〔セグメント情報〕

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主にねじ、ナット、金具などの建築用ファスナー及びそれらを締結するツール（工具）を製造販売する事業を行っており、「建築用ファスナー及びツール関連事業」を報告セグメントとしております。

「建築用ファスナー及びツール関連事業」は、ねじ、ナット、金具及びツール等の製造販売のほか、太陽光発電パネル組立を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自平成23年1月1日 至平成23年9月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書計上額 (注) 3
	建築用ファスナー及びツール関連				
売上高					
外部顧客への売上高	5,759,836	292,299	6,052,135	—	6,052,135
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,759,836	292,299	6,052,135	—	6,052,135
セグメント利益	333,432	17,414	350,846	△48,485	302,361

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車・家電等部品関連事業、不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△48,485千円は、全額各報告セグメントには配賦していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結会計期間（自平成23年7月1日 至平成23年9月30日）

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

## （追加情報）

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

## （6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年2月14日及び平成23年2月25日開催の取締役会において自己株式を取得することを決議し、第1四半期連結累計期間において普通株式220千株を25,040千円で取得しました。当該取引等の結果、当第3四半期連結会計期間末における自己株式は177,560千円となっております。